2026年度
自己点検・評価

【 専修学校ガイドライン 及び ISO29993・21001 を踏まえた評価 】

学校法人シモゾノ学園

大宮国際動物専門学校

【 2026年(令和8年) 6月2日 制定 】

1. 学校法人シモゾノ学園の基本的な考え方 について

■ 教育理念

□「心を大切に 感謝の気持ちで自然を思い 人と動物の真の共存共生」

□ 教育理念「人と動物の真の共存共生」を実現すべく、社会・企業等から高い評価が得られる人財・職業社会人を育成する教育事業を行う。

■ 基本的方針

□ 本校の 入学者の受入れや入学者に求める資質についての基本的な方針「Admission Policy（アドミッションポリシー）」は、次のとおりとする。

□ 本校が求める 基礎学力 と 倫理観 を備える者。

□ 将来の職業として、動物関連業界に強い関心と熱意のある者。

□ 動物愛護 と 動物福祉 の精神に深い理解を持つ者。

□ 本校の 教育目標に対する、教育課程や教育方法についての基本的な方針「Curriculum Policy（カリキュラムポリシー）」は、次のとおりとする。

□ 学生が専門的な知識や技術に加え、豊かな人間力・適切な社会人力・多様な資質 を身に付け、社会・企業等から高い評価が得られる人財となれるように、教育目的である育成人財像を掲げる。

□ 教育目的である育成人財像を基に、教育目標を「専門性の追求、道徳性・人間性の育成、動物福祉の実践」の3つに区分け、適切な 教育課程（学内授業・学内外研修・企業連携実習 等）と 教育方法にて「学生の立場に立った教育」及び「できないことを学生のせいにしない教育」を行う。

□ 学生が教育目標を達成できるように、PDCAサイクル 等を用いて、定期的な学習成果の検証 及び 必要に応じた改善 を行う。

□ 本校の 卒業認定や学位授与についての基本的な方針「Diploma Policy（ディプロマポリシー）」は、次のとおりとする。

□ 人生を生き抜く多様な力 と 自分と周りの命（人生）を大切にする心 を持ち、心豊かに活きて生きる資質を持つ者。

□ 人と動物の真の共存共生について、自身の考えを持つとともに他者の多様な考えにも理解を示せる者であり、主体的・積極的に取り組み続けられる者。

□ 本校に所定の修業年限以上在学し、所定の 授業科目 及び 授業時数 を履修した者について、校長は校長会議の議を経て卒業を認定し、学位を授与する。また、履修の認定について、試験 等の成績に基づいた厳格な成績評価を行い、校長は校長会議の議を経て、これを認定する。

■ 教育方針

□「専門性の追求」を教育方針の1つとし、動物を取り巻く環境をしっかり理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人財を育成します。

□「道徳性・人間性の育成」を教育方針の1つとし、感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人財を育成します。

□「動物福祉の実践」を教育方針の1つとし、動物の生命 及び 尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し広く社会に貢献できる人財を育成します。

■ 行動指針

□ 各部署の役割の遂行とグループが一丸となって各部署の情報を共有し互譲互助で心を1つにして教育理念実現に向け邁進します。

2. 重点的に取り組む目標・計画 について

■ 教育関連事項
☐ 教育課程編成委員会等を通し、教育目標・教育課程等の検証と改善を行い、教育の質の向上を行う。
☐ 学生が学習成果を適切に得られるように、教育の仕方等の検証と改善を行い、教育の質の向上を行う。

■ 学校運営関連事項
☐ 入学対象者の情報の受け方に合わせた、学生募集の仕方の検証と改善を行い、入学定員を満たす。
☐ 教職員が主体的・効率的に職務に取り組めるよう、学校運営の仕方の検証を行い、改善に活かす。

3. 評価項目・評価指標・エビデンス について

■ 評価は、4段階で行う。
→ 評価項目に対し、専修学校ガイドライン 及び ISO29993・21001 を踏まえた評価指標に則って評価を行う。
→【3-15】・【4-4】・【5-9】・【11-1】について、本校の取り組み指針を踏まえ、本校は評価指標の3評価を4評価とする。
→【3-17】・【6-7】・【8-3】・【9-4】について、評価指標の最高値は3評価までであるが、表記は4評価とする。

■ エビデンスは、評価の根拠資料となるものを厳選し、多くて3つ程度までとする。

■ 大項目 ごとに、自己点検・評価 の結果を次の3区分に分けて記載する。
→ ① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 ② 課題 及び 今後の改善方針・取り組み ③ 特記事項

1. 教育理念･目標		評価	エビデンス
1－1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的･育成人財像は明確に定められているか。（専門分野の特性が明確になっているか。）	4	学則、学校案内書、ホームページ「挨拶/教育理念ページ」、教育課程編成委員会 議事録
1－2	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4	学校案内書、教育課程編成委員会 議事録、卒業生状況調査書
1－3	学校の理念･目的･育成人財像･特色･将来構想等が学生･保護者等に周知されているか。	4	学校案内書、学生の手引き、保護者会 案内･説明PP･レジュメ、学校関係者評価委員会 議事録

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について

→ 2025年度 学校関係者評価委員会（第1回 7月3日･第2回 8月6日）における意見を踏まえ、教育理念 及び 学科別の育成人財像の共有方法を見直した。

→ 2026年度 教職員クレド（CREDO）を改訂し、学科ごとの 育成人財像 及び 教育目標 を到達項目として明示したうえで全教職員に配付･携帯させ、各自が年度目標を記入する様式とした。

→ 学科ごとの卒業認定の方針として「学科別ディプロマポリシー」（本校 5学科）を作成し、養成する人材像、修得させる資質･能力、取得を目指す資格･免許等 及び 卒業要件 を学科ごとに明示するとともに、教職員クレド（CREDO）の学科別 教育目標 を別表「学科 教育目標」として位置付けた。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について

→ 学科別ディプロマポリシー を「卒業認定の方針」として位置付ける規定が未整備である。学則 又は 学生の手引き への明記と、学園HP「3つのポリシー･客観的な指標等」の学科別版への差し替えを行う。あわせて、卒業判定を行う校長会議資料に当該方針を掲げ、方針に基づく認定であることを記録上明らかにする。

③ 特記事項

→ 教職員クレド（CREDO）を全教職員に配付･携帯させ、学科別の 育成人財像 及び 教育目標 を到達項目として示すとともに、各自が年度目標を記入する様式としている。代表訓示の年度スローガンを一覧で継承しており、理念の共有が継続して行われている。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について

→【監査を行った者】チーム③ 【監査を受けた者】チーム②

→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果

→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

2. 学校運営		評価	エビデンス
2－1	教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか。	4	事業報告書(学園HP 情報公開)、事業計画共有会レジュメ、教育課程編成委員会 議事録
2－2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。（教務･財務の意思決定システム制度は整備されているか。）	4	寄附行為、理事会･評議員会 議事録、学園本部会議 議事録、組織分掌図
2－3	学校運営に関する（事業計画･予算編成･教育活動等）に対する評価を結論として取りまとめた評価報告書を作成しているか。	4	学校関係者評価 報告書、学園HP（画面の画像)、教職員研修 資料（兼任教職員 全体会 2023年度）
2－4	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、人事･給与に関する規程も含め、有効に機能しているか。	4	寄附行為、組織分掌図、就業規則、理事会 議事録
2－5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	学校運営指針、組織分掌図、学校関係者評価 報告書
2－6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	教育課程編成委員会 議事録、学校関係者評価 報告書、学園HP（情報公開ページ 画面の画像）

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ 2026年度 組織分掌表を改訂し、各部署の所掌 及び 責任体制を更新した。
→ 事業計画 PDCA会議を定例で開催し、事業計画の進捗の検証と改善の指示を記録する運用を継続してい

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について
→ 事業計画 PDCA 会議 における検証の結果と、次年度の事業計画への反映との対応関係を示す資料が未整備である。

③ 特記事項
→ 事業計画 PDCA 会議 を毎月開催し、学科ごとの 学習成果･出席状況･内定状況･学費納入状況 を数値で共有したうえで、対応を議事録に記録している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム②【監査を受けた者】チーム③
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

3. 教育活動		評価	エビデンス
3－1	教育理念に沿った教育課程の編成･実施方針等が策定されているか。	4	教職員クルド、学校案内書、学生の手引き、シラバス
3－2	教育理念･育成人財像･業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	学生の手引き、情報公開（様式4）、シラバス
3－3	教育理念･到達目標に沿って、学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	カリキュラム、学生の手引き、情報公開（様式4）
3－4	講義 及び 実習 に関するシラバスは作成されているか。	4	シラバス、シラバス･教育担当者のまとめ
3－5	学生によるアンケート等をもとに、適切に授業評価を実施しているか。	4	授業アンケート（学生）、学外事前･事後研修アンケート（学生）
3－6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか。（教育内容 及び その評価方法･手段･スケジュール は適切か。）	4	兼任教職員セルフチェック、授業参観評価表、授業評価アンケート（学生）
3－7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	学校関係者評価委員会 議事録、教育課程編成委員会 議事録、企業連携実習 評価表
3－8	成績評価･単位認定、進級･卒業判定の基準は明確になっているか。	4	学生の手引き、実技試験評価表、校長会議 資料（進級･卒業判定関連）
3－9	人財育成目標の達成に向け、各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	教職員採用基準指針、教職員採用 面接記録表、教職員名簿、学校運営指針（コアコンピテンシー）
3－10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員（専任･兼任共に）を確保するための活動が行われているか。	4	加盟団体一覧、企業連携研修 契約書･報告書･評価表、教育課程編成委員会 議事録、VN養成所 年次報告書、2025年度最終の組織分掌図
3－11	関連分野における先端的な知識･技術等を習得するための研修や教員の指導力育成等の資質の向上のための取り組みが行われているか。	4	企業連携研修 契約書･報告書･評価表、教職員研修 報告書、美容改善会議 議事録
3－12	カリキュラムは、自主学習を含む学習時間･学習方法を学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか。	4	カリキュラム、学生の手引き、年間スケジュール
3－13	講義に関し、定められたカリキュラム 若しくは それに準じたカリキュラム が実施されているか。	4	カリキュラム、情報公開（様式4）
3－14	実習に関し、定められたカリキュラム 若しくは それに準じたカリキュラムが実施されているか。	4	カリキュラム、情報公開（様式4）
3－15	講義･実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか。	4	募集要項、入試面接（入試記録）、学生の手引き
3－16	動物を使用する実習･実験等に関し、これらに関する倫理や動物の福祉についての規則やマニュアルが整備され、公表されているか。	4	学校飼育動物管理規程、学生の手引き、学内掲示物（アニマルウェルフェア･動物の逸走防止対策）
3－17	学生の成績情報等への閲覧制限が適切に設定されているか。	4	個人情報管理区分、みんなで取り組む個人情報の管理、学籍管理

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について

→ 教育課程編成委員会を年2回開催し、議事録に委員個々の意見と学校側の活用方針を併記する様式を継続して使用し、外部の意見が授業科目に反映された経過を追跡できるように記録した。

→ 教職員名簿 を整備し、教員ごとに 専任･兼任の別、生年月日 及び 年齢、勤務年数、実務経験の有無･年数、専修学校設置基準 第41条 の該当号、担当学科 並びに 担当授業科目 及び 単位数 を把握できるようにした。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について

→ 教職員名簿が把握しているのは担当授業科目の 単位数 であり、教員一人当たりの 授業時数 としては算定していない。単位数から単位時間への換算の方法を定めて年間担当授業時数を併記するとともに、担当授業科目の記載が未了の教員について年度当初に一斉に記入する手順を定める。

→ FD･SD の基本方針、年間実施計画 及び 研修報告書（参加者名簿･参加率）の様式が未整備である。

③ 特記事項

→ 教育課程編成委員会の議事録に、委員個々の意見と、これに対する学校側の活用方針を併記しており、外部の意見が授業科目に反映された経過を追跡できる。

→ 企業等と連携した実習を教育課程に位置付け、その単位時間数 及び 総授業時数に占める割合を 別紙様式4 により公表している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について

→【監査を行った者】チーム③　【監査を受けた者】チーム①

→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果

→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

4. 学習成果		評価	エビデンス
4－1	年度末における就職率の向上が図られているか。	3	就職率データ（過去3年間）、保護者会資料、合同企業説明会　実施要項
4－2	資格取得率の向上が図られているか。	4	愛玩動物看護師 国家試験補講スケジュール、美容改善会議 議事録、学内認定資格試験 実施要項・採点表（美容実技ステップアップ試験・トレーナー3級ライセンス試験。一部抜粋）
4－3	入学者に対する卒業率はどうか。	3	情報公開（様式4）、事業計画 PDCA 会議（学習成果状況報告データ）、カウンセリングスケジュール
4－4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し、評価する体制があるか。	4	学生の手引き、ボランティアマイル制度、ボランティアマイル表彰者リスト
4－5	学生の学習成果の評価に際して、育成する人財像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか。	4	クレド、学生の手引き、校長会議 資料（進級・卒業判定関連）
4－6	教育・訓練 及び 実習 等を委託する場合、その目的・要望事項・評価項目等の依頼を明確にしているか。	4	企業連携実習 契約書、実習依頼状、実習評価表
4－7	動物看護総合実習等の企業と連携した実習について、依頼先と十分なコミュニケーションをとり、その内容・評価方法等を事前に定め、評価しているか。	4	動物看護総合実習 依頼書、動物看護総合実習 ポートフォリオ・評価表、企業連携実習 評価表

【 自己点検・評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ 就職率・資格取得率・卒業率を 事業計画 PDCA 会議 で月次に共有し、学科ごとの状況に応じた補講・個別面談につなげる運用を継続している。
→ 愛玩動物看護師 国家試験について補講スケジュールを整備し、学科ごとの会議で到達状況を確認する取り組みを継続している。

② 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 必修の取得目標資格は全員が取得すること（取得率 100%）を目標としているが、これを学科としての目標取得率として文書に明記していない。学生の手引き 又は 学科別ディプロマポリシーへの明記により明文化することを検討し、実績との対比を行う。
→ 就職率の算定基準日が資料により異なる。就職率算定要領 を定めて基準日 及び 算定式を統一したうえで、学科ごとの就職率の目標を設定する。

③ 特記事項
→ ボランティアマイル制度により、学生の社会的な活動を把握して表彰する仕組みを設けている。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時・場所 について
→【監査を行った者】チーム③　【監査を受けた者】チーム①
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

5. 学生支援		評価	エビデンス
5－1	進路や就職に関する支援体制が整備され、学生や保護者等に周知されているか。	4	学生の手引き、進路カード・進路決定届・就職活動報告書、就職セミナー 資料、保護者会資料
5－2	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか。	4	年間スケジュール（健康診断スケジュール）、提携病院 契約書、救急技能講習 受講リスト
5－3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	募集要項、学生の手引き、下薗龍二記念 奨学生（名簿）、家族入学支援奨学生(名簿)
5－4	学生相談に関する体制は整備されているか。（相談窓口が設置されているか。）	4	学生の手引き、カウンセリングルーム 案内、カウンセリング記録、学生相談 報告書
5－5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	学生の手引き、課外活動・サークル活動申請書、ボランティアマイル制度
5－6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか。	4	シモゾノ学園のサポート制度、学校案内書（学生会館案内・学生マンション案内）、学生マンション利用状況、学生の手引き、修繕等関係書類（校舎別）
5－7	保護者との連携は適切に行えているか。	4	学生の手引き、保護者会案内書、学校HP（在校生用ページ）、学生相談 報告書
5－8	卒業生への支援体制は整備されているか。	4	学校HP（卒業生向け求人票ページ）、MyiD 案内物、年次大会案内、卒業後就職支援リスト
5－9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	募集要項、学校運営指針、学生相談報告書、学生の手引き
5－10	高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取り組みが行われているか。	4	職業体験受け入れ関連書類、学校見学受け入れ関連書類、高校ガイダンス一覧、

【 自己点検・評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について

→ 学校保健安全法 に基づく「2026年度 学校保健計画」を新たに策定し、健康診断・環境衛生検査・保健教育・組織活動を月別に体系化した。別紙の形式は採らず、保健管理・安全管理の組織 及び 役割分担は毎学年度の「組織分掌表」により、具体的な実施日は 年間スケジュール予定表 及び 各健康診断スケジュール によることを、いずれも同計画の注記に明示している。

② 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について

→ 入学後の合理的配慮について、申出から検討・決定・実施 及び 見直しに至る手続を定めた文書が未整備である。相談記録票 及び 配慮決定通知の様式とあわせて整備する。

→ スクールカウンセリングにおける守秘義務 及び 情報連携の取扱いが未文書化である。共有できる事項の範囲、本人の同意の取り方、緊急時の例外、面接記録の保管責任者・保管場所・保存年限を定める。

③ 特記事項

→ 臨床心理士による面接を両校で同一の様式・手順により実施し、学生のみならず教職員・講師からの相談にも応じている。実施状況は月報により月次で報告している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム②【監査を受けた者】チーム①
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。
→【5-6】･【5-8】について、エビデンスの追加を提案。

6. 教育環境		評価	エビデンス
6－1	施設･設備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されているか。	4	授業時間割り表、施設使用割当表、組織分掌図
6－2	防災に対する体制は整備されているか。	4	学生の手引き、消防計画、2026年度 防災･避難訓練 実施要項、防災･避難訓練 実施マニュアル（学年別）、消防訓練の実施記録（消防訓練実施書 様式第4号）、防災セット説明用PP
6－3	実習室には検査に必要な設備が整備されているか。	4	施設使用割当表、教育機器備品管理台帳、予算書
6－4	動物に協力してもらえる実習室 及び 必要な動物 が備わっているか。	4	施設使用割当表、学校飼育動物管理台帳
6－5	自己学習に必要な図書室 ないし 図書スペース 及び コンピューター が利用できる環境が整備されているか。	4	校内案内･校舎案内（学校案内書 抜粋）、図書管理台帳、教育補助室 利用ルール
6－6	学校の施設や備品等は、定期的に管理･点検されているか。	4	施設･設備等の点検一覧表、定期点検記録表、修繕等関係書類（校舎別）、修繕･備品中長期計画データ
6－7	実習室等の学校施設や設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか。	4	施設使用割当表
6－8	海外研修制度はあるか。また、その際の学生への指示･教育は十分に実施されているか。	4	海外研修 案内データ（2025年度）、海外研修 報告･改善書（2025年度）

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について

→ 学校保健安全法 に基づく「2026年度 学校安全計画」を新たに策定し、安全管理･安全教育･組織活動を月別に体系化した。

→ 2026年5月1日 の防災･避難訓練について、実施日時、場所、参加人員 及び 訓練内容を さいたま市消防局あての「消防訓練実施書」（様式第4号）により記録した。

→ 施設･設備の更新について「修繕･備品中長期計画データ」を整備し、両校 7館 の竣工年を明示したうえで、屋上防水、外壁、キュービクル、エレベーター、消防用設備、給排水設備、シャッター、看板、床ワックス、電話、複合機･印刷機、照明、AED 及び 空調 の 14区分 について、対象、概算費用、概算の更新サイクル 及び 前回の実施年 を整理し、実施予定年度を 2027年 から 2060年 まで の年次に配置した（全153項目･総額 約 7億7,000万円）。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について

→ 大宮 1号館 ～ 3号館 の消防計画 について、記載内容の是正 及び 所轄消防署への届出を行う。あわせて 別表 の担当者氏名を 2026年度 組織分掌表 と突合して記入し、組織分掌表にも防火管理者 及び 自衛消防隊の職務を明記する。

→ 施設･設備の点検について、「施設･設備等の点検一覧表」及び「定期点検記録表」を作成し、法定の定期点検の全体像とその実施状況を示せるようにしているが、日常点検については、学校運営指針に基づき毎授業日に実施しているものの、実施したことを記録する様式がなく、同一覧表に日常点検の行を設けられていない。2026年度中に、教育環境整備 分科会が作成する清掃･点検のチェック表を日常点検の記録様式として定め、点検対象、実施頻度、実施者、記録の保管場所 及び 保管期間 を同一覧表に加えたうえで、記録を残す運用を開始する。

③ 特記事項

→ 防災･避難訓練において、学年別の資料により 同行避難 の考え方と 動物用の備品 を具体的に指導しており、欠席した学生には課題冊子を配付して提出させている。動物を扱う専門学校としての特性を踏まえた取り組みである。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム① 【監査を受けた者】チーム③
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→【6-2】について、エビデンスの追加を提案。
学生が防災セット等を整備されている目的や活用方法をより身に付けられるように取り組みを拡充する案を検討した。

7. 学生の受け入れ募集		評価	エビデンス
7－1	学生募集活動は適正に行われているか。	4	学校案内書・募集要項、入試・学費説明会説明PP、情報公開（様式4、プライバシーポリシー）、入試結果リスト（順位付け）
7－2	学納金は妥当であるか。	4	情報公開（財務）、学費の比較資料（同分野 他校の学費情報 等）
7－3	特別な対応が必要な学生への対応を定め、共有しているか。（身体的事項や精神的事項等）	4	ネガティブな状況相談に対する対応マニュアル（入学相談室）、留学生の手引き・留学生募集要項、進学ご相談カード（カルテ）

【 自己点検・評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ エビデンスの名称が実態と異なっていた点を是正し、「留学生対応マニュアル」を「留学生の手引き」及び「留学生募集要項」に改めた。

② 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 入学後の合理的配慮について、申出から検討・決定・実施 及び 見直しに至る手続を定めた文書が未整備である。

③ 特記事項
→ ネガティブな状況相談に対する対応マニュアル により、学力、出席、身体的な障がい、精神的な障がい、LGBTQ 及び 留学生への対応 の区分ごとに、相談時に確実に周知する事項と個別に検討する配慮の内容を定め、想定される質問と回答例を対にしたQ＆A問答集を併せて備えている。
→ 学費について 同分野の他校との比較資料を作成し、学納金の妥当性を検証している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時・場所 について
→【監査を行った者】チーム③ 【監査を受けた者】チーム②
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

8. 財務		評価	エビデンス
8－1	中･長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4	学園HP（情報公開ページ 画面の画像）
8－2	予算や資金収支計画は有効かつ妥当であるか。	4	監査報告書、理事会･評議員会 議事録、情報公開（財務）
8－3	財務について、会計監査が適正に行われているか。	4	監査報告書
8－4	財務情報の公開の体制整備はできているか。	4	財務情報公開規程、学園HP（画面の画像）

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ 財務情報公開規程 に基づく 学園HP での公開を継続し、監査報告書 及び 理事会･評議員会 の議を経た事業報告を併せて公表した。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について
→ 修繕･備品中長期計画データ に基づく実施状況について、計画に対する実績の対比が未整理である。実施年月 及び 実際の費用を記入する欄を設け、決算との突合により年度ごとに検証する。

③ 特記事項
→ 財務情報公開規程 を定め、監査報告書 及び 理事会･評議員会 の議を経た財務情報を 学園HP で公表している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム②【監査を受けた者】チーム③
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

9. 教育の内部質保証システム		評価	エビデンス
9－1	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか。	4	監査報告書、修学支援新制度 機関要件の確認通知連絡
9－2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	個人情報保護規程、個人情報保護規程に関するSCのまとめの掲示物
9－3	自己点検・評価の実施と課題の改善を行っているか。	4	内部監査 記録、学校関係者評価 報告書
9－4	自己点検・評価の結果を公開しているか。	4	情報公開（自己点検・評価の報告）
9－5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な期間ごとに見直ししているか。	4	職務記述書、教職員面談記録（SCシート）
9－6	評価目標 及び 想定される評価範囲 を整理し、記述できているか。	4	授業参観評価表 一覧、授業参観評価表（講義形式・実習形式）
9－7	教職員に対する評価方法・スケジュール・評価の仕方等が書類として文書化されているか。	4	学校運営指針（GB）、学園 年間スケジュール、教職員 SCシート

【 自己点検・評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ 内部監査を 2026年5月20日 に実施し、担当外のチームが相互に監査することで評価の客観性を確保した。
→ 本報告書の様式を改訂し、大項目ごとに「前年度の評価結果に基づく 改善状況」の欄を新設して、評価の結果と改善活動の状況を併せて公表することとした。

② 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 自己点検・評価の結果に基づく改善について、どの部署の誰が担当するのかを定めた手順が文書化されていない。改善の体制 及び 業務の流れを規程 又は 手順書として整理する。

③ 特記事項
→ 自己点検・評価は、自らが担当していない業務をチームが相互に監査する方式で実施しており、2026年度は 5月20日 に両校合同で行った。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時・場所 について
→【監査を行った者】チーム①【監査を受けた者】チーム③
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

10. 社会貢献･地域貢献		評価	エビデンス
10－1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献、学生のボランティア活動の奨励や支援、地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む。）の受託等を積極的に実施しているか。	4	生涯教育･社会貢献計画、ボランティアマイル要項、リアル体験教室 スケジュール、大宮ドッグフェスティバル学生案内、ムサシトミヨ水槽展示の埼玉県HPへの掲載

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ ボランティアマイル制度により学生の社会的活動を把握･表彰する運用を継続し、出前授業･学外実習の受け入れについて報告書により実施状況を記録した。
→ 地域の保育園･学校･高齢者施設 等への出前授業 及び 学外実習を継続して実施した。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について
→ 社会貢献･地域貢献の取組について、年度ごとの実施状況を集計して公表する様式が未整備である。

③ 特記事項
→ 保育園･学校･高齢者施設 等への出前授業 及び 学外実習を継続して受け入れており、地域に開かれた取組としている。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム②【監査を受けた者】チーム①
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。

11. 国際交流		評価	エビデンス
11 - 1	留学生の受入れや派遣について、計画的に活動するとともに、在籍管理等において、適切な手続き等を行っているか。	4	留学生用募集要項、入国管理局への報告書

【 自己点検･評価 】

① 前年度の評価結果に基づく 改善状況 について
→ 留学生の在籍管理について、留学生サポート室 を窓口とし、海外渡航届･資格外活動許可･在留資格の変更 等の手続を継続して実施した。
→ 留学生募集要項 に日本語の要件 及び 入学に際しての注意事項を明記し、入学前に周知する運用を継続して実施した。

② 課題 及び 今後の改善方針･取り組み について
→ 留学生を対象とした交流行事は、在籍数が少ないことから設けていない。在籍する留学生は日本人学生と同一のクラスで授業･実習を受けており、日常の学修を通じて交流の機会を確保している。今後、在籍数の推移に応じて交流の機会を設ける必要性を検討する。

③ 特記事項
→ 留学生サポート室 を設置し、「留学生の手引き」により 在留資格 及び 各種届出の手続を案内している。

【 内部監査 】

① 参加者名 及び 実施日時･場所 について
→【監査を行った者】チーム②【監査を受けた者】チーム③
→【監査日時】2026年5月20日(水) 15:30 ～ 17:30　【場所】IAC東京校 会議室

② 監査結果
→ 全ての項目 について、適切な評価が行われている。